

輸出管理DAY for ACADEMIA 2024

Export Control Day for Academia

輸出管理 DAY for ACADEMIA^(※1)が目指すもの

輸出管理DAY for ACADEMIA (EFA) は2013年3月に第1回の年次大会を開催し、今大会が第11回目の開催となります。今大会 (EFA2024) のテーマは『アカデミアの輸出管理の在り方を考える』です。大学等の社会的役割や国際社会の情勢など周囲を取り巻く環境が刻々と変化の中で、大学等が安全保障輸出管理に取り組むべき意義も変わり続けており、大学等に対してより適切な輸出管理の実施が求められています。政府機関担当者や専門家の有識者による講演とディスカッション等で構成するEFA2024が、ご参加いただく皆様の大学等所属機関において現在と将来の輸出管理実務の一助になることを期待しております。

2024年 **11月1日** (金) 10:15~17:15

<受付開始: 10:00>

東京理科大学 葛飾キャンパス
図書館大ホール

- 参加費 無料
- 定員 500名
- 主催 輸出管理DAY for ACADEMIA実行委員会^(※2)
- 共催 東京理科大学
- 後援
文部科学省
経済産業省
外務省
法務省
特定非営利活動法人 産学連携学会
一般財団法人 安全保障貿易情報センター (GISTEC)
日本安全保障貿易学会 (JAIST)
一般社団法人 日本知財学会
一般社団法人 大学技術移転協議会 (UNITT)
一般社団法人 日本電気計測器工業会 (JEMIMA)
公益社団法人 日本技術士会
株式会社 日刊工業新聞社
- 協賛
合同会社 日本輸出管理研究所

17:40~ 情報交換会 <詳細は下記申込サイトを参照>

会場: 葛飾キャンパス管理棟 学生食堂2階

参加費: 4,000円



東京都葛飾区新宿6-3-1

JR常磐線(東京メトロ千代田線)「金町」駅
または京成金町線「京成金町」駅下車、徒歩8分

<https://www.tus.ac.jp/tuslife/campus/katsushika/>

※1. 輸出管理DAY for ACADEMIA (EFA) について

輸出管理DAY for ACADEMIA (EFA) は、大学や研究機関が中心となって、輸出管理の啓発・促進・活性化のために関係する政府機関、産業界の輸出管理関係者に呼び掛けを行い、毎年一堂に会し、大学・研究機関のための「日本版輸出管理デー」を開催するものである。

※2. 輸出管理 DAY for ACADEMIA (EFA) 実行委員会について

EFA実行委員会は、「輸出管理DAY for ACADEMIA」の企画・運営を目的として、2012年11月に発足した。現在の委員会は、大学(愛媛大学、大阪大学、大阪公立大学、九州大学、九州工業大学、群馬大学、慶應義塾大学、芝浦工業大学、筑波大学、電気通信大学、東海大学、東京大学、東京科学大学、東京理科大学、名古屋大学、奈良先端科学技術大学院大学、広島大学、北海道大学、三重大学、明星大学、山形大学、横浜国立大学、立命館大学)と民間企業等の輸出管理担当者等で構成されている。

お申し込み 以下のURLからお申し込みください。

<https://www.kokuchpro.com/event/efa2024/>

お問い合わせ: 輸出管理DAY for ACADEMIA 実行委員会事務局

E-mail: efa.academiaoffice@gmail.com

【趣旨】

大学・研究機関等における安全保障輸出管理に関する実務知識の普及と関係者の意識の向上を図ることを目的として、大学等に所属する実務者が中心となり、関係する政府機関、産業界にも呼び掛けて、2013年以降、これまで10回の「輸出管理DAY for ACADEMIA」の年次大会（EFA大会）を実施してまいりました。EFA大会は、大学等の輸出管理関係者を中心としたコミュニティ形成に大いに資するとともに、輸出管理業務の問題の共有化、意識啓発、業務の質の向上に意義のあるイベントです。

2024年11月1日（金）に開催の「輸出管理DAY for ACADEMIA2024（EFA2024）」におきましても、関係各機関にご協力をいただき、本大会が意義深いものになると考えております。

ご案内の通り、国際社会情勢の急激な変化を受け、大学等の社会的役割の変容とともに大学等が輸出管理に取り組む意義も変わり続けており、大学等の規模や実情等に応じて、より高度な輸出管理の実施が求められています。そこでEFA2024では『アカデミアの輸出管理の在り方を考える』をテーマとして、キャッチオール現状と課題、通関手続きと税関輸出事後調査対応など、近年の課題に対応したプログラムを取り上げます。また、分科会形式を初めて取入れ、アカデミアの該非判定、アカデミアセーフガード条項についてのセッションを実施します。アカデミアの輸出管理が直面している課題にどのように対応するのが良いのか、輸出管理関係者が一堂に会して検討できる大会とします。本大会の開催を通じて、大学等における輸出管理体制がより適切に実施されることを目指します。

プログラム**10:00～ 受付開始****10:15～11:45 分科会****分科会1「アカデミアの該非判定」（図書館大ホール）**

該非判定は、輸出管理の本質的な要素でありながら、アカデミア、特に大学で実施する場合、多くの課題に直面致します。例えば、誰が判定を行うのか、法令の理解、多くは貨物ではなく技術の判定であること、対象の技術の理解、手法・ツールの開発が難しく、ノウハウも伝授され難いこと。本分科会では、貨物・技術リスト（合体マトリクス）を見るに当たり必要となる法令上の知識と、課題を克服するための各大学での取り組みについて紹介します。

司会進行：高橋 真一（芝浦工業大学）

講師：金 美善（大阪大学）、足立 和成（山形大学）、

中塚 祐子（奈良先端科学技術大学院大学）、大林明彦（北海道大学）

分科会2「輸出管理法におけるアカデミアセーフガード条項について」（大村ホール：図書館大ホールと同フロア、右手）

輸出管理法の規定にはアカデミアに対する一定のケアとして援用できる例外条項（アカデミアセーフガード条項）が備わっており、大学においてはそれを適切に用いることで確実な輸出管理を行うことが求められます。本セッションではこのアカデミアセーフガード条項を取り上げ、我が国と諸外国との違いや研究者が持つ理解などを共有した上で、現場の専門家が把握する問題点や改善点等の意見を出し合うブレインストーミングのラウンドテーブルを開催します。

モデレーター：佐藤 弘基（九州大学）

テーブル参加者：話題提供者（山田 朗（愛媛大学）、初 春（九州大学））、コメンテーター（田仲 信夫（CISTEC））

大学実務の専門家 複数名

11:45～13:00 昼食

《司会：宮下 史子（東京大学）》

13:00～13:05 主催者挨拶 石川 綾子（輸出管理DAY for ACADEMIA 実行委員会委員長）**13:05～13:10 共催団体挨拶** 向後 保雄（東京理科大学 研究担当副学長）**13:10～13:30 来賓挨拶**

文部科学省 高等教育局 参事官（国際担当） 佐藤 邦明

経済産業省 貿易経済安全保障局 貿易管理部 安全保障貿易管理課長 末森 洋紀

外務省 軍縮不拡散・科学部 不拡散・科学原子力課長 横田 直文

財務省 関税局調査課長 酒井健太郎

13:30～13:50 特別講演：技術管理強化のための新たな官民対話スキームの構築について

（経済産業省 貿易経済安全保障局 経済安全保障政策課 技術調査室 室長 笠間 太介）

13:50～15:20 パネル討論①「キャッチオールの現状と課題」

AIや量子などの新興技術が急速に進展しているなかで防衛技術と民生技術の境界が曖昧になってきており、安全保障貿易管理の中でキャッチオール規制の重要性が高まってきています。しかし、大学などのアカデミアの安全保障貿易管理の現場では、その運用について様々な課題を抱えているものと思います。そこで、このセッションでは、キャッチオール規制について、その歴史から概要を紹介するとともに、パネラーから具体的な取り組み状況等を紹介してもらいます。あわせて、皆様から事前にいただいたキャッチオール規制に関するご質問にお応えします。

モデレーター：石原 祐志（慶應義塾）

パネラー：狩野 幹人（三重大学）、山越 祥子（筑波大学）、蔭山 有生（KDDI株式会社）、古原 聡美（九州工業大学）

15:20～15:40 休憩**15:40～17:10 パネル討論②「貨物の輸出管理 一通関手続きと税関輸出事後調査対応」**

数年前から税関による大学に対しての輸出事後調査が始まり、大学の輸出管理実務は外為法に加え関税法への対応を迫られています。本セッションではパネラーに各大学や企業での貨物の輸出管理の取組み、輸出事後調査の経験談や受査後の改善点等について紹介・討論していただきます。

モデレーター：小野 薫（電気通信大学）

パネラー：今野 瑞穂（東京科学大学）、鈴木 則人（京都大学）、初 春（九州大学）、小島 慶久（大陽日酸株式会社）

17:10～17:15 閉会宣言 則竹 幹子（輸出管理DAY for ACADEMIA 実行委員会副委員長）**17:40～ 情報交換会【東京理科大学葛飾キャンパス管理棟 2階学生食堂】**

※当日のプレゼン資料は参加者各位でダウンロードください。（会場での配布はいたしません。）
ダウンロードサイトについては、申込者に後日メールにてご連絡いたします。